

令和3年度三重県地球温暖化防止活動推進員の手引き

三重県地球温暖化防止活動推進員（以下「推進員」という。）は、地球温暖化対策の推進に関する法律第 37 条の規定に基づき三重県知事が委嘱するものです。

また、三重県では三重県地球温暖化防止活動推進員設置運営要綱（以下「運営要綱」という。）で推進員の皆さんが行う活動を定めています。

一方、三重県地球温暖化防止活動推進センター（以下「三重県センター」という。）は、同法第 38 条の規定に基づき三重県知事が指定するものです。

三重県センターは、同法第 38 条第 2 項各号の事業を行うこととしており、その中で推進員の皆さんの活動を助けることとされています。

このため、推進員の皆さんが具体的な活動を行うに当たっては、運営要綱の趣旨を十分理解されると共に次の事項にご留意いただきますようお願いいたします。

三重県地球温暖化防止活動推進員設置運営要綱は、[三重県センターのホームページから確認できます。「推進員活動の紹介」→「事業の概要」](#)

地球温暖化対策の推進に関する法律（抜粋）

第 38 条 都道府県知事等は、地球温暖化対策に関する普及啓発を行うこと等により地球温暖化の防止に寄与する活動の促進を図ることを目的とする一般社団法人若しくは一般財団法人又は特定非営利活動促進法（平成十年法律第七号）第二条第二項の特定非営利活動法人であつて、次項に規定する事業を適正かつ確実に行うことができると認められるものを、その申請により、都道府県又は指定都市等にそれぞれ一を限って、地域地球温暖化防止活動推進センター（以下「地域センター」という。）として指定することができる。

2 地域センターは、当該都道府県又は指定都市等の区域において、次に掲げる事業を行うものとする。

一 地球温暖化の現状及び地球温暖化対策の重要性について啓発活動及び広報活動を行うとともに、地球温暖化防止活動推進員及び地球温暖化対策の推進を図るための活動を行う民間の団体の活動を助けること。

（二～四省略）

五 地方公共団体実行計画の達成のために当該都道府県又は指定都市等が行う施策に必要な協力をする。

三重県地球温暖化防止活動推進員設置運営要綱（抜粋）

第1条 この要綱は、地球温暖化対策の推進に関する法律（平成10年法律第117号）第37条の規定に基づき、三重県における地球温暖化対策の推進を図るための活動に取り組む三重県地球温暖化防止活動推進員（以下「推進員」という。）の設置及び運営について必要な事項を定める。

第6条 推進員は、ボランティアとして活動を行うものであり、地方公務員法（昭和25年法律第261号）第3条第3項に規定する特別職の身分を保有するものではない。

第7条 推進員は、次の各号に定める活動を行う。

- （1）地球温暖化の現状及び地球温暖化対策の重要性について、普及啓発、情報提供、助言を行い、住民の理解を深めること。
- （2）住民に対し、その求めに応じ日常生活に関する温室効果ガスの排出の抑制等のための措置について調査を行い、当該調査に基づく指導及び助言をすること。
- （3）地球温暖化対策の推進を図るための活動を行う住民に対し、当該活動に関する情報の提供その他の協力をすること。
- （4）住民に対し、省エネ型の消費行動を促して実質的に温室効果ガス排出量の削減を図る活動を行うこと。
- （5）県、市町及び三重県地球温暖化防止活動推進センター（以下「センター」という。）が実施する地球温暖化防止対策の推進に必要な協力をすること。
- （6）活動を通じて得た地球温暖化防止に関連する情報や事例を収集した場合には、適宜センターに情報を提供すること。
- （7）日常生活において地球温暖化防止に関する実践行動を行うこと。
- （8）地球温暖化対策の推進に関する法律第40条に規定する地球温暖化対策地域協議会の設立及びその育成に努めること。

1 推進員の活動内容

- 1） 推進員の活動として、ご自分の生活や業務の中だけでなく、市町や団体等からの地球温暖化対策に係る協力要請についても、できる範囲内でご協力ください。
- 2） 推進員の活動として、自ら率先して身近な活動に取り組んでいただくとともに、その活動を地域や団体に広げるファシリテーターとしての役割も担っていただけることを期待しています。
- 3） すでに環境保全に関する活動を行っている方は、地球温暖化防止の視点を加えて取り組んでください。

※留意事項

- 1) 地球温暖化に関する知識の習得にあたっては、各種の研修会やイベント等に積極的に参加するなど、自らも知識の習得に努めてください。
- 2) 推進員の活動は、三重県地球温暖化防止活動推進員運営要綱第6条によってボランティア活動とされています。推進員の立場を利用し、営利を目的とした活動は認められません。

(1) 普及啓発

【 出前講座等 】

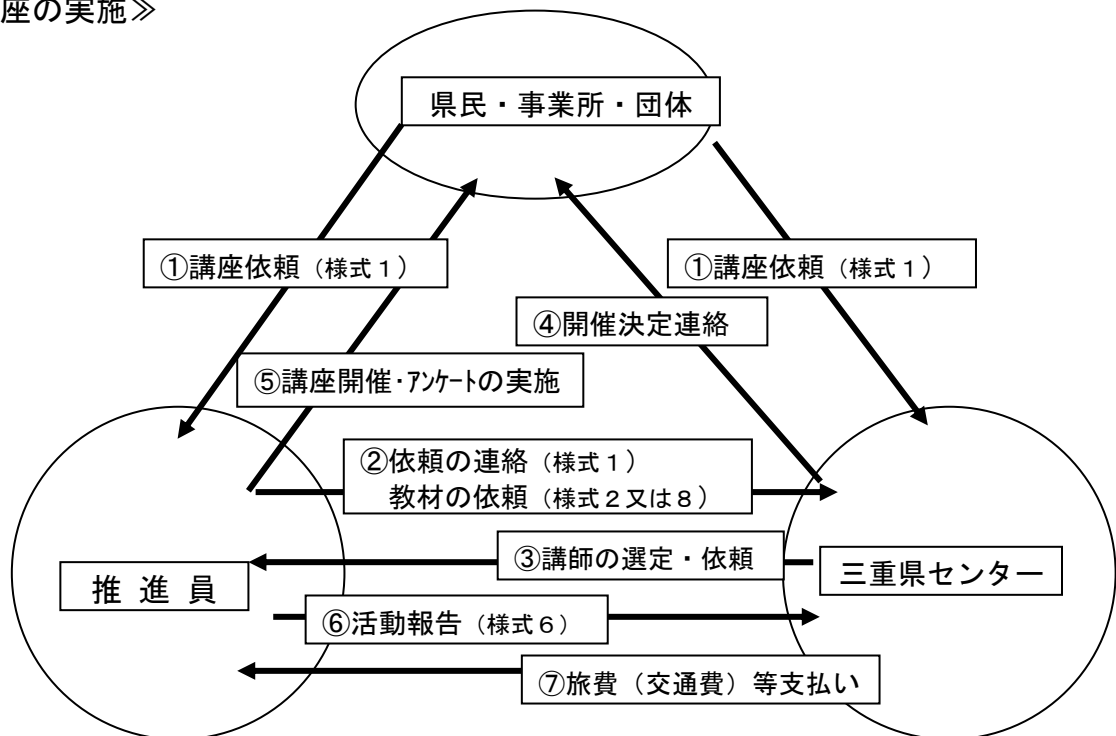
住民や団体等に対して、地球温暖化問題に関する情報を提供することや、日常生活における二酸化炭素などの温室効果ガスの抑制につながる具体的な取組の実践に向けた働きかけを行ってください。

- ① 例えば、地域の自治会やPTAなどの集会の場又は各団体や事業所内で、地球温暖化問題についての情報提供や具体的行動の呼びかけなど、普及啓発の場の働きかけをお願いします。
- ② 直接、出前講座等の依頼があった時は、依頼者に「出前講座依頼及び受付票（様式1）」の提出をお願いしてください。また、三重県センターに速やかに報告ください。
- ③ 出前講座等の依頼があり自分以外の講師が必要とされる場合は、三重県センターにご連絡ください。他の推進員の方に講師として協力いただけるよう調整します。
- ④ 直接、出前講座等の依頼があった時は、講座の内容・時間等について、依頼先と調整してください。
- ⑤ 三重県センターに普及啓発用パンフレット・チラシ等がありますので、出前講座等ではそれらを活用してください。
- ⑥ 出前講座等が終わりましたら、アンケートを行い、回収したものを三重県センターに、送付してください。
※アンケート用紙は三重県センターで準備しますので、出前講座等の日時に間に合うよう連絡ください。また、集計は三重県センターが行い、その結果をお知らせします。
- ⑦ その他備品等についても三重県センターの方で準備しているものを活用いただけます。あるいは独自で作成していただいても構いません。その場合、作成資材の支援が必要であれば三重県センターにご相談ください。



- ・自治会や学校など様々な団体から温暖化防止に関する出前講座等の依頼があります。
- ・三重県センターでは、これらの依頼に応えるためホームページ等を通じて広く情報を提供しています。
- ・出前講座等の依頼があった場合に、三重県センターから皆様に講師依頼をさせていただきます。
- ・講師をして頂ける方は、三重県センターに連絡をお願いします。
- ・また、県や三重県センターからイベント等への協力要請があった場合は、ボランティアとして積極的にご協力をお願いします。

《出前講座の実施》



三重県センターの役割

- ・講師（推進員）の依頼
- ・講師（推進員）の講座資料作成の支援
- ・必要機材の貸し出しや配布資料等の提供
- ・アンケートによる受講者の温暖化防止への取組み状況等の把握

【 多様な主体との連携・協力による環境活動 】

- ① 一人一人ですることには限りがあります。しかし、地域の方々が連携して取り組めば大きな力となるものもあります。ボランティア団体などが行っているイベントや環境保全活動などに参加して積極的に温暖化防止に関する普及啓発を行ってください。
- ② その際、パンフレットや普及啓発グッズの購入などの支援が必要であれば、三重県センターにご相談ください。

活動Q & A

Q 1 パンフレットや啓発に使う図書・教材・道具は、どのようなものがあるのか。

A 三重県センターには、地球温暖化に関するパンフレット等の配布物や貸出品等があります。「機材貸出及びパンフレット提供申込書（様式2）」をご提出いただければ貸出（提供）いたしますのでご利用ください。

※貸出物品については、付表で確認してください。

Q 2 普及啓発活動に対する受講者の反応を知りたい。

A 三重県センターで地球温暖化に関するアンケートを用意しています。出前講座等でアンケートを実施していただき、回収して三重県センターに送付してください。

Q 3 勤務先の業務の一環として行ったことは、推進員としての活動になるか。

A 推進員の活動は、ボランティアとしての活動です。勤務先での業務を行う中でも、可能な限り地球温暖化防止に向けた普及啓発を行っていただきたいのですが、推進員の活動の対象外となります。

Q 4 推進員としての活動する地域は指定されるのか。

A 基本的には県内が対象です。身近なところが活動の中心になろうかと思いますが、いろいろな機会をとらえて居住する市町を超えた広域的な活動も積極的に行ってください。

（2）協力依頼に基づく普及啓発

推進員の皆さんにイベント等への協力をお願いする団体は、主に市町や県が多いと考えていますが、企業等からの依頼もあります。三重県での地球温暖化防止の取組のほか、三重県センターにおいても「環境フェア」等の開催を計画していますので、ご協力をお願いします。

（3）地球温暖化防止対策関連情報の収集

活動の中で、他の地域や団体等の参考となるような事例や情報を入手した場合は、適宜、三重県センターへ提供してください。

活動Q & A

Q 1 どのような事例や情報を入手した場合に三重県センターへ提供するのか。

A 他の地域の方々が、地球温暖化防止に向けた行動を行う上で、参考となるような事例やユニークな事例を提供してください。

Q 2 情報提供の方法はどうやってするのか。

A 特に様式は定めていませんので、FAX、電子メールなどを利用して情報提供をお願いします。

なお、ご提供いただいた情報につきましては、場合により、さらに補足的な情報もお願いすることもありますので、ご協力をお願いします。

2 活動報告

活動報告は、活動終了後速やかに、三重県センターへ報告してください。
※出来るだけ事前に予定をお知らせください。

活動終了後、「三重県地球温暖化防止活動推進員活動報告書（様式6）」により、速やかに、FAXや電子メールでご報告ください。

- ・ 活動種別・日時・活動場所（市町名、施設名）・活動内容・普及啓発を行った場合は、対象人数を記載してください。

また、交通費等の算出に必要となりますので移動方法等も忘れずに記載してください。

- ・ 啓発人数は、啓発グッズ、パンフレット等の配布数及び担当ブースのイベントへの参加者数を記入してください。

3 三重県センターによる推進員への支援

三重県センターでは、推進員の皆さんを支援するため、次のことを行っています。

- ・ 推進員研修会の開催
- ・ 他機関主催による研修等の情報の提供
- ・ 地球温暖化対策に関する情報の提供

活動Q & A

Q 1 普及啓発活動に必要な書籍、ビデオ、啓発資材等は、提供してもらえるか。

A 三重県センターには、地球温暖化に関するDVD教材、資材（パンフレットを含む）があります。貸出・提供申込書（様式2）をFAX等でご連絡いただければ貸出しますのでご活用ください。

（※付表：貸出用品一覧を参照してください。）

Q 2 インターネットでの情報提供はあるのか。

A 推進員の皆さんへの研修会等の案内や情報提供は主としてメールを使用します。その他、三重県センターのホームページによる情報提供も行っています。

4 研修費・旅費、活動経費等の負担

- ・研修旅費については、三重県センター主催の推進員研修等への参加にかかる研修旅費（交通費）を支給します。
- ・三重県センターに報告のあった出前講座及び受付票と三重県センターが実施するイベント等について、活動報告用紙を提出いただいた後に、旅費・報償費等を支給します。
- ・詳細は、三重県地球温暖化防止活動推進センターが実施する推進員の地球温暖化防止活動に対する支援基準を参照してください。

活動Q & A

Q 1 日常の活動はどのように報告したらよいか。

A 日常活動の報告は、「三重県地球温暖化防止活動報告用紙（様式6）」により、活動終了後、速やかに電子メールやFAXでご報告ください。

Q 2 三重県センターが主催する推進員研修以外で、研修への参加費や旅費は認められるのか。

A 研修への参加で旅費を支給できるのは三重県センター主催の研修のみとなっています。

Q 3 活動に際して、公共交通機関を使って移動した場合は、特急料金は認められるか。

A 片道50km以上と認められた場合には、支給します。ただし、予算の都合もありますので、事前に三重県センターにご相談ください。

Q 4 県からの依頼で活動を行った場合に旅費等は、支給されるのか。

A 県から三重県センターに依頼があった活動にご協力をいただいた場合は、旅費等を支給することがあります。

Q 5 講師として協力した場合、協力依頼者が謝礼や旅費を支給してくれた時は、これを受け取ることはできるか。

A 社会通念上許される範囲の中で判断してください。また、受け取られた場合は、三重県センターからの旅費等の支給はありません。

Q 6 活動時に事故に遭うとも限らない。保険はどうなっているのか。

A 三重県センターで推進員のみなさん全員の「ボランティア活動保険」に加入します。

Q 7 啓発活動に使用する教材作成用資材等の購入費は支給してもらえるのか。

A 出前講座等で使用する資料のコピーを含め、教材作成資材等の購入は、事前に「教材作成用資材等購入依頼書（様式8）」により三重県センターに依頼してください。

なお、依頼に当たっては、使用時期に間に合うよう十分に余裕を持って購入等依頼書を提出（送付）してください。

Q 8 普及啓発等で急遽、コピーが必要になった場合、コピー代は支給して貰えるのか。

A 資料のコピーが必要であれば、三重県センターでコピーをしますが、急遽、コピーが必要になった場合のコピー代については、三重県センターと協議が必要です。また、領収書は必ず取っていただき、協議が整いましたら、領収書に捺印したうえで「教材作成用資材等購入依頼書（様式8）」に添えて三重県センターに郵送してください。

なお、パンフレット及びチラシ・啓発物品の送料は三重県センターで負担します。

5 その他

活動Q & A

Q 1 センターが実施する推進員研修は必ず参加しなければならないか。

A 推進員研修は、推進員の識見向上を目的として開催するものです。

全ての受講が望ましいのですが、やむを得ない事情で欠席をする場合は、出欠届の提出をお願いします。

Q 2 推進員の身分は。

A 推進員は知事から委嘱されるものですが、公務員としての身分を持つものではありませんので、地方公務員法等は適用されません。

Q 3 任期が満了した後も引き続き推進員の委嘱を受けられるか。

A 「三重県地球温暖化防止活動推進員設置運営要綱」第4条において、「再委嘱することを防げない。」としておりますので、引き続き委嘱を受けることが可能です。ただし、推進員応募書類を提出していただきます。

Q 4 一般に幅広く推進員を募集するのか。

A 三重県では、推進員募集に当たり三重県ホームページへの掲載や募集チラシの配布などの公募によって募集します。

Q 5 推進員として活動ができなくなった場合はどうしたらよいか。

A 推進員の方が、やむを得ない理由で活動を行うことができなくなったときや、県外への転居などにより、推進員の要件を満たさなくなったときは、委嘱を取り消すことになりますので、三重県もしくは三重県センターまでご連絡ください。

Q 6 任期中、地球温暖化に関する知識を試すための試験や再選考はあるか。

A 三重県では、任期中の試験や再選考は現在のところ想定していません。

しかし、推進員は、住民や団体、事業所等の方々に対して、地球温暖化の現状や地球温暖化対策の重要性についての情報提供を行うほか、日常生活や事業活動における温室効果ガスの排出量を抑制するための助言や支援を行うことになっています。これらの活動が可能となるよう、常に地球温暖化についての新しい知識の習得に努めてください。

Q 7 年齢の制限はあるのか。

A 三重県では、年齢満 18 才以上で、地球温暖化防止に向けた普及啓発活動の推進に熱意と識見を持っている方に推進員をお願いしています。

Q 8 「推進員」を名刺に刷り込むことはできるか。

A 推進員としての活動を円滑に進めるため、名刺に推進員の肩書きを記載することは、問題はありません。

なお、名刺を使用する際は推進員の活動や地球温暖化対策の重要性について P R するなど、普及啓発活動の一環としての使用を心掛けてください。

Q 9 推進員証はどのように使えばよいのか。

A 推進員証は、県から委嘱された地球温暖化防止活動推進員であることの証です。「三重県地球温暖化防止活動推進員設置運営要綱」第 9 条において活動の際は携帯するよう規定されています。

事務局からのお願い

三重県ホームページで掲載されている『三重県指針』最新版を参考にし、推進員の皆様におかれましては、引き続き新型コロナウイルス感染症の防止に努めていただきますようお願い致します。

6 センターホームページ等

◆三重県地球温暖化防止活動推進センター

<http://www.mec.or.jp/ondan/>

◆三重の環境（三重県環境生活部）

<http://www.eco.pref.mie.lg.jp/>

◆全国地球温暖化防止活動推進センター

<http://www.jccca.org/>

◆三重県気候変動適応センター

<http://lccac-mie.org>

◆環境省

<http://www.env.go.jp/>

◆気候変動キャンペーン（Fun to Share）

<http://funtoshare.env.go.jp/>

◆経済産業省 地球環境対策

http://www.meti.go.jp/policy/energy_environment/global_warming/index.html

◆資源エネルギー庁

<http://www.enecho.meti.go.jp/>

附則

この手引きは、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附則

この手引きは、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附則

この手引きは、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附則

この手引きは、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附則

この手引きは、平成 28 年 5 月 27 日から施行する。

附則

この手引きは、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附則

この手引きは、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附則

この手引きは、令和元年 4 月 1 日から施行する。

附則

この手引きは、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

附則

この手引きは、令和 3 年 6 月 16 日から施行する。

貸出用品一覧

機材

<p>①-1 火起こしセット</p>  <p>5</p>	<p>①-2 ワットアワーマーター</p>  <p>38</p>	<p>①-3 エコワット</p>  <p>68</p>
<p>①-4 省エネ・電球3灯比較器</p> 	<p>②-1 ゼネコン用ライト実験ボックス</p>  <p>5</p>	<p>②-2 三重県センターブルゾン</p>  <p>20</p>
<p>③-1 省エネナビ</p>  <p>20</p>	<p>③-2 火打石セット</p>  <p>2</p>	<p>③-3 グルーガン</p>  <p>3</p>
<p>④-1 石炭(原油・土状黒鉛)</p>  <p>2</p>	<p>④-2 風呂敷</p>  <p>38</p>	<p>④-3 牛床革手袋</p>  <p>3</p>
<p>⑤-1 プロジェクター</p>  <p>3</p>	<p>⑤-2 DVD マルチドライブ</p> 	<p>⑤-3 スピーカー</p>  <p>2</p>

<p>⑥-1 ドラム式延長コード</p>  <p>2</p>	<p>⑥-2 コード付きタップ</p>  <p>5</p>	<p>⑦-1 ラミネーター(A3 版)</p> 
<p>⑧-1 簡易 CO2 測定器</p>  <p>5</p>	<p>⑧-2 ポインター</p>  <p>2</p>	<p>手回し発電機(単品)</p>  <p>5</p>
<p>⑨-1 油性マーカー</p>  <p>3</p>	<p>⑨-2 ラジカセ(CD・カセット)</p> 	<p>⑨-3 環境かるた(はがき・A4)</p>  <p>2</p>
<p>⑩-1 大型紙芝居</p> 	<p>⑩-2 スクリーン</p> 	<p>⑩-3 啓発用ノボリ</p>  <p>5</p>
<p>⑪-1 手回し発電用</p>  <p>2</p>	<p>⑪-2 手回し発電用</p>  <p>2</p>	<p>⑪-3 手回し発電用</p> 

啓発用パネル

<p>①</p>  <p>2100年、日本の夏は？ 日本の真夏日の日数は どうなるの？</p> <p>2100年までに約40日増加する 真夏日(最高気温30℃以上) の年間日数予測</p> <p>2018年度 約40日 2020年度 約44日 2030年度 約48日 2040年度 約52日 2050年度 約56日 2060年度 約60日 2070年度 約64日 2080年度 約68日 2090年度 約72日 2100年度 約76日</p> <p>【A3 2枚】</p>	<p>②</p>  <p>日本の部門別 二酸化炭素排出量の割合</p> <p>2018年度 日本の部門別 二酸化炭素排出量の割合</p> <p>11億3800万トン</p> <p>【A3 1枚】</p>	<p>③</p>  <p>家庭からの二酸化炭素排出量</p> <p>2018年度 家庭からの 二酸化炭素排出量 用電割合 4,150kgCO₂/世帯</p> <p>【A3 1枚】 【A2 1枚】</p>	<p>④</p>  <p>一人当たりの二酸化炭素排出量</p> <p>2018年度 一人当たりの 二酸化炭素排出量 1,920kgCO₂/人</p> <p>【A3 1枚】</p>
<p>⑤</p>  <p>世界の二酸化炭素(CO₂)排出量</p> <p>世界の二酸化炭素(CO₂)排出量は、2018年度、約320億トンに達しています。</p> <p>一人当たりの二酸化炭素(CO₂)排出量</p> <p>2018年度、一人当たりの二酸化炭素(CO₂)排出量は、約1.9トンに達しています。</p> <p>【A3 1枚】 【A2 1枚】</p>	<p>⑥</p>  <p>テレビ</p> <p>省エネな選び方</p> <p>テレビ</p> <p>【A3 1枚】</p>	<p>⑦</p>  <p>照明</p> <p>省エネな選び方</p> <p>照明</p> <p>【A3 1枚】 【A2 1枚】</p>	<p>⑧</p>  <p>気候変動への対策</p> <p>【A3 1枚】</p>
<p>⑨</p>  <p>温水 洗浄便座</p> <p>省エネな選び方</p> <p>温水洗浄便座</p> <p>【A2 1枚】</p>	<p>⑩</p>  <p>エアコン</p> <p>省エネな選び方</p> <p>エアコン</p> <p>【A2 1枚】</p>		

啓発用パンフレット（下記以外のパンフレットも多数ございます）

<p>①</p>  <p>三重県地球温暖化防止活動 推進センター パンフレット</p>	<p>②</p>  <p>くらしの省エネガイドブック ～地球温暖化対策～ B5 版サイズ</p>	<p>③</p>  <p>三重県気候変動影響レポート フィールドワーク 2019 2020 年 1 月適応センター</p>
<p>④</p>  <p>クールチョイス！ 節エネガイド</p>	<p>⑤</p>  <p>地球教室 2019 基礎・応用・研 究編 朝日新聞環境教育プロジェクト 対象：小学 4 年生以上</p>	<p>⑥</p>  <p>クールなちよい子さんが行く。 【第2、3話】 冷蔵庫でトクして省エネの巻 シェアリングエコミーで省エネの巻</p>
<p>⑦</p>  <p>地球温暖化ってなあに？ A5 サイズ 小学生低学年～対象</p>	<p>⑧</p>  <p>スマートライフおすすめ BOOK B6版サイズ</p>	<p>⑨</p>  <p>地球の温暖化を みんなで防ごう！ 小学生対象</p>
<p>⑩私たちの暮らしと気候変動(リーフレット) ～いま、三重県で起きていること、これから起きること～</p>  <p>A3 サイズ(二つ折り)</p>	<p>⑪地球温暖化対策で私たちにできること</p>  <p>A4 サイズ 啓発チラシ</p>	

「⑥クールなちよい子さんが行く」は

https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/lets_coolchoice/logo_download/choiko/にてダウンロードできます。

DVD

<p>①</p>  <p>できることから脱炭素 アクション！ オール三重で COOLCHOICE 【3 枚】 本編 15 分</p>	<p>⑥</p>  <p>①地球規模の気候変動リ スク ②2050 年の天気予報 ③2100 年未来の天気予 報(夏バージョン) ④2100 年未来の天気予 報(冬バージョン) 本編 27 分</p>
<p>②</p>  <p>もったいないばあさん ①もったいないばあさん ②かわをゆく ③いただきます ④まほうのくに 本編 20 分</p>	<p>⑦</p>  <p>COOL CHOICE ～地球の未来を守るの は、あなたです 【2 枚】 8 項目 (計 59 分) 2017 年度</p>
<p>③</p>  <p>気候変動・温暖化 ①地球温暖化のウソ？ ホント？ ②温暖化ってヤバいの？ ③じゃあ、どうすればいい の？ 地球環境研究センター 副センター長江守正多氏 2020 年 本編 47 分</p>	<p>⑧</p>  <p>DVD (Blu ray) MEGA CRISIS 巨大危機 加速する異常気象との闘 い(NHK スペシャル) 2016 年 本編 48 分</p>
<p>④</p>  <p>ミライアイズ 2018 年 環境省制作 本編 30 分 4 項目</p>	<p>⑨</p>  <p>気候変動への挑戦 動き出した世界と日本 【2 枚】 制作 2016 年 本編 118 分 7 項目</p>
<p>⑤</p>  <p>地球を守ろう！ 未来からのメッセージ 地球温暖化って何？ 2012 年 本編 16 分</p>	<p>⑩</p>  <p>CD-ROM 版地球温暖化 資料集 2015 資料編・実用編 制作:地球環境市民会議</p>

<p>⑪</p>  <p>地球温暖化 今、わたしたちに できること 【10 枚】</p> <p>2008 年 6 項目(分) (21.20.20.20.19.22)</p>	<p>⑫</p>  <p>見直そう わたしたちの暮らし 【2 枚】</p> <p>2011 年 本編 37 分</p>
<p>⑫</p>  <p>わたしにもできること たとえばこんな エコライフ</p> <p>2008 年 本編 70 分</p>	<p>⑬</p>  <p>みんなであめざそう “ごみゼロ社会”</p> <p>2008 年 本編 15 分</p>
<p>⑬</p>  <p>EARTH VISION The Best 【3 枚】</p> <p>2007 年 9 作品収録(分) (7.56.9.3.10.2.21.6.15)</p>	<p>⑭</p>  <p>プラネットアース planet earth (NHK スペシャル)</p> <p>2006 年 本編 59 分</p>
<p>⑭</p>  <p>デイ・アフター・トゥモロー 【4 枚】</p> <p>2004 年公開 本編 124 分</p>	<p>⑮</p>  <p>「知ろう、学ぼう、 考えよう、地球温暖化」 【4 枚】</p> <p>2002 年 29 項目 (30 秒～5 分)</p>
<p>⑮</p>  <p>DVD「君たちの動画を 待っている！ 藤岡弘、地 球温暖化防止道場」 受賞作品</p> <p>30 分(まとめ動画1本と 受賞 9 作品)</p>	<p>⑯</p>  <p>出前講座推進員動画 マニュアル ・火おこし(準備編、 実践編) ・あっとホーム 滋賀県地球温暖化 防止活動推進センター 本編 20 分</p>

関係様式一覧

様式１・・・・・・・・出前講座依頼及び受付票

様式２・・・・・・・・機材貸出及びパンフレット提供申込書

様式３・・・・・・・・環境省 会場アンケート

様式４・・・・・・・・COOL CHOICE 賛同用紙（個人）

様式５・・・・・・・・子ども用アンケート（小学生）
（防ごう地球温暖化【できることから始めよう】）

様式６・・・・・・・・三重県地球温暖化防止活動推進員活動報告用紙
（出前講座、イベントセンター主催含、その他の啓発活動等）

様式７・・・・・・・・三重県地球温暖化防止活動推進員研修会参加報告用紙

様式８・・・・・・・・教材作成用資材等購入依頼書

出 前 講 座 依 頼 及 び 受 付 票

受付年月日： 年 月 日 ()

依 頼 者 名	団 体 名：		受付者名
	代表者名： 様 担 当 者： 様		
	電話番号： FAX 番号： E-mail：		
講座希望日時	年 月 日 () 時 ～ 時 講座時間 () 時間		
講 座 場 所			
聴 講 予 定 者	職 業 等：		
	年 齢：	人 数： 人	
希望講座内容			
機械器具等の 設置状況	プロジェクター：会場に有り（依頼者が手配） ・ センター持参 パ ソ コ ン：会場に有り（依頼者が手配） ・ センター持参 ス ク リ ー ン：会場に有り（依頼者が手配） ・ センター持参 D V D 機 器：会場に有り（依頼者が手配） ・ センター持参 そ の 他：		
セ ン タ ー 記 入 欄	講 演 者 名：		● 講座場所までの交通手段
	講演者との打合日： 月 日 ()		・ 自家用車 ・ 自転車
	打 合 場 所：		・ 公共交通機関・徒歩
	打 合 せ 結 果		
	講演題名：		
	講演概要：		
資料部数：			
そ の 他：			

*お申し込みは1カ月前までにお願いします。希望開催日が重なる場合は、
講座にうかがえないこともございますので、お早めにお申し込みください

三重県地球温暖化防止活動推進センター

 TEL : 059-245-7517 FAX : 059-245-7518
 E-mail : mcca@mec.or.jp

申込者氏名	(団体名)
-------	-------

- ① 一度に貸出が出来る機材等は、原則 5 品目までです。
- ② 貸出期間は原則として一週間です。一週間以上の貸出を希望される方は、事前にお問い合わせください。
- ③ 貸出申請をされても、貸出中でセンターにない場合がありますので事前にご確認ください。
- ④ 借用者が備品を紛失・破損・汚損した場合、原則として同一の備品を弁償するものとします。

センター記入欄			センター職員	
申請受領日	年	月	日	承認・不可
貸出日	年	月	日	確認印
返却日	年	月	日	確認印

本アンケートは、環境省「脱炭素ライフスタイル推進事業の高度化検討等委託業務」の一環で実施しています。



省エネ家電利用意向実態アンケート

省エネ家電の利用意向を調査しています。わかる範囲でお答えください。

1. あなたご自身について

性別 ☐ 男性 ☐ 女性 ☐ その他

年齢 ☐ 10代以下 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代以上

2. 省エネ家電キャンペーンについて

◆以下のキャンペーン、制度について知っていましたか（1つ回答）。

◎5つ星家電^{*1}買換えキャンペーン

- ☐ 内容まで詳しく知っていた
☐ 名前は知っていた
☐ 知らなかった
（イベントで初めて知った）

◎統一省エネルギーラベル^{*1}制度

- ☐ 内容まで詳しく知っていた
☐ 名前は知っていた
☐ 知らなかった
（イベントで初めて知った）

^{*1}: 「5つ星家電」とは、統一省エネルギーラベル（右図参照）で☆5つの家電を指します。そのうち、冷蔵庫、エアコン、テレビについてお伺いします。



3. これまでの検討状況について

◆イベント前、省エネ家電に興味がありましたか（1つ回答）。

- ☐ すでに購入済み → Q4を飛ばす
☐ 機会があれば購入したいと思っていた
☐ 興味はあったが、購入対象ではなかった
☐ 興味がなかった
☐ 省エネ家電のことを知らなかった
☐ テレビ・エアコン・冷蔵庫を利用していない
☐ わからない

4. 今後の購入意向について

◆イベントに参加されて、省エネ家電を購入したいと思いましたか（1つ回答）。

- ☐ 機会があれば購入したいと思う
☐ 興味はあるが、購入対象には入らない
☐ 興味が無い
☐ テレビ・エアコン・冷蔵庫を利用していない
☐ わからない

5. 購入意向の理由について

Q3で「すでに購入済み」または、Q4で「機会があれば購入したいと思う」「興味はあるが、購入対象には入らない」のいずれかを選択された方にお尋ねします。

◆なぜ、省エネ家電を購入しましたか/興味を持ちましたか（3つまで）。

- ☐ CO2の削減に貢献するため
☐ これまでの家電よりも電気代が安くなったため
☐ これまでの家電よりも高性能であるため
☐ みんな（周りの人）が省エネ家電を購入しているため
☐ 持っている家電が壊れたため
☐ その他（具体的に）
☐ 特に理由はない・なんとなく

6. 追跡アンケートへのご協力をお願い

◆WEBアンケート実施のためメールアドレスをご記入ください^{*2}。

@ 以下は下から選択して下さい

- ☐ docomo.ne.jp ☐ ezweb.ne.jp ☐ i.softbank.jp ☐ softbank.ne.jp ☐ yahoo.co.jp ☐ gmail.com
☐ その他（ ）

★ご協力ありがとうございました。

^{*2}: 地球温暖化防止にかかる普及啓発活動の改善のため、後日、簡単なWEBアンケートを実施する予定です。ご理解・ご協力をいただけます場合には、アンケートをお送りするメールアドレスを上欄にご記入ください。本WEBアンケートは、環境省事業の一環として、「脱炭素ライフスタイル推進事業の高度化検討等委託業務」受託者が実施します。
 ○迷惑メール防止機能により、WEBアンケートメールが迷惑メールフォルダやゴミ箱に自動的に振り分けられている可能性があります。一度ご確認頂きますようお願いいたします。
 ご記入いただいたメールアドレス等の個人情報は、「脱炭素ライフスタイル推進事業の高度化検討等委託業務」において統計・分析処理され、個別の内容が公表等されることはありません。また、個人情報に該当する情報は、当該業務遂行の目的のみのために利用し、委託元である環境省、受託者以外の第三者に開示せず、厳重に管理します。

追加

本アンケートは、環境省「脱炭素ライフスタイル推進事業の高度化検討等委託業務」の一環で実施しています。



LED照明利用意向実態アンケート

LED照明の利用意向を調査しています。わかる範囲でお答えください。

1. あなたご自身について

性別 ☐ 男性 ☐ 女性 ☐ その他

年齢 ☐ 10代以下 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代以上

2. これまでの検討状況について

3. 今後の購入意向について

◆ イベント前、LED照明に興味がありましたか（1つ回答）。

- ☐ すでに購入済み ➡ Q3を飛ばす
- ☐ 機会があれば購入したいと思っていた
- ☐ 興味はあったが、購入対象ではなかった
- ☐ 興味がなかった
- ☐ LED照明のことを知らなかった
- ☐ わからない

◆ イベントに参加されて、LED照明を購入したいと思いましたか（1つ回答）。

- ☐ 機会があれば購入したいと思う
- ☐ 興味はあるが、購入対象には入らない
- ☐ 興味がない
- ☐ わからない

4. 利用／購入意向の理由について

Q2で「すでに購入済み」または、
Q3で「機会があれば購入したいと思う」「興味はあるが、購入対象には入らない」のいずれかを選択された方にお尋ねします。

◆ なぜ、LED照明を購入しましたか／興味を持ちましたか（3つまで）。

- ☐ CO2の削減に貢献するため
- ☐ これまでの照明よりも電気代が安くなったと思ったため
- ☐ これまでの照明よりも寿命が長いため
- ☐ 調光・調色機能があるため
- ☐ みんな（周りの人）がLED照明を購入しているため
- ☐ 現在使っている照明が切れた／壊れたため
- ☐ その他（具体的に
- ☐ 特に理由はない・なんとなく

5. 追跡アンケートへのご協力をお願い

◆ WEBアンケート実施のためメールアドレスをご記入ください*1。

@ 以下は下から選択して下さい

- ☐ docomo.ne.jp ☐ ezweb.ne.jp ☐ i.softbank.jp ☐ softbank.ne.jp ☐ yahoo.co.jp ☐ gmail.com
- ☐ その他（

★ご協力ありがとうございました。

*1: 地球温暖化防止にかかる普及啓発活動の改善のため、後日、簡単なWEBアンケートを実施する予定です。ご理解・ご協力をいただけます場合には、アンケートをお送りするメールアドレスを上のご記入ください。本WEBアンケートは、環境省事業の一環として、「脱炭素ライフスタイル推進事業の高度化検討等委託業務」受託者が実施します。
○迷惑メール防止機能により、WEBアンケートメールが迷惑メールフォルダやゴミ箱に自動的に振り分けられている可能性があります。一度ご確認頂きますようお願いいたします。
ご記入いただいたメールアドレス等の個人情報は、「脱炭素ライフスタイル推進事業の高度化検討等委託業務」において統計・分析処理され、個別の内容が公表等されることはありません。また、個人情報に該当する情報は、当該業務遂行の目的のみに利用し、委託元である環境省、受託者以外の第三者に開示せず、厳重に管理します。

環境省

本アンケートは、環境省「脱炭素ライフスタイル推進事業の高度化検討等委託業務」の一環で実施しています。

追加



食べものに、
もったいないを、
もういちど。
NO-FOODLOSS PROJECT

食品ロス削減意向実態アンケート

食品ロスの削減意向を調査しています。わかる範囲でお答えください。

1. あなたご自身について

性別 ☐ 男性 ☐ 女性 ☐ その他

年齢 ☐ 10代以下 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代以上

2. これまでの食品ロス削減のための取組の実施状況について

◆ **現在の食品ロス**を削減するための取組（食べ残しを減らす、食材を買いすぎない等）の実施状況についてお聞かせください（1つ回答）。

- ☐ 常に行っている
☐ 気づいたときに行っている
☐ 行っていないが、行いたいと思っている
☐ 行っておらず、行いたいとも思わない

3. 今後の食品ロス削減のための取組の実施意向について

◆ **イベントに参加されて**、食品ロスを削減するための取組を実施したいと思いましたか（1つ回答）。

- ☐ 現在も常に行っており、今後も行いたい
☐ これまで行う頻度は少なかったが、今後は常に行いたい
☐ 機会があれば行いたい
☐ 行いたいとは思わない
☐ わからない

4. 実施意向の理由について

Q3で「現在も常に行っており、今後も行いたい」「これまで行う頻度は少なかったが、今後は常に行いたい」「機会があれば行いたい」のいずれかを選択された方にお尋ねします。

◆ **なぜ、食品ロス**を削減するための取組を実施していますか／実施したいと思いましたか（3つまで）。

- ☐ CO2の削減に貢献するため
☐ もったいないと思うため
☐ これまでよりも食費が安くなったと思ったため
☐ みんな（周りの人）が食品ロス削減のための取組を行っているため
☐ その他（具体的に）
☐ 特に理由はない・なんとなく

5. 追跡アンケートへのご協力をお願い

◆ WEBアンケート実施のためメールアドレスをご記入ください*1。

@ 以下は下から選択して下さい

- ☐ docomo.ne.jp ☐ ezweb.ne.jp ☐ i.softbank.jp ☐ softbank.ne.jp ☐ yahoo.co.jp ☐ gmail.com
☐ その他（ ）

★ご協力ありがとうございました。

*1: 地球温暖化防止にかかる普及啓発活動の改善のため、後日、簡単なWEBアンケートを実施する予定です。ご理解・ご協力をいただけます場合には、アンケートをお送りするメールアドレスを上のご記入ください。本WEBアンケートは、環境省事業の一環として、「脱炭素ライフスタイル推進事業の高度化検討等委託業務」受託者が実施します。
○迷惑メール防止機能により、WEBアンケートメールが迷惑メールフォルダやゴミ箱に自動的に振り分けられている可能性があります。一度ご確認頂きますようお願いいたします。ご記入いただいたメールアドレス等の個人情報は、「脱炭素ライフスタイル推進事業の高度化検討等委託業務」において統計・分析処理され、個別の内容が公表等されることはありません。また、個人情報に該当する情報は、当該業務遂行の目的のために利用し、委託元である環境省、受託者以外の第三者に開示せず、厳重に管理します。

環境省



地球温暖化対策のための COOL CHOICE賛同書



STEP 1

COOL CHOICEにご賛同をお願いします！

賛同はこちらから▼



COOL CHOICE
賛同登録用QRコード

地球温暖化対策のために、今できる「賢い選択」。

COOL CHOICEとは、2030年度に温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという目標達成のため、脱炭素社会づくりに貢献する製品への買換え・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策に資する「賢い選択」をしていこうという取組のことです。

スマートフォンやタブレット端末で、左のQRコードを読み取り、COOL CHOICEホームページ内の登録画面で賛同をお願いします。

COOL CHOICEホームページでは、今日からできる様々なアクションが紹介されています。

身近な生活のなかで、未来のために、今選択できるアクションを選ぶ。あなたも、ぜひ「COOL CHOICE」にご参加ください！

QRコードを利用しない方はこちらへご記入ください。



私は「COOL CHOICE(クールチョイス)」に賛同し、行動することを宣言します。
(※賛同の意思を表すものとしてチェックしてください。)

日付 年 月 日

地球温暖化対策に関するメールマガジンを配信しています。受信を希望される方は、メールアドレスをご記入ください。(※無い方はニックネームをご記入ください。)

メールアドレス

@

ニックネーム:

STEP 2

これから取り組みたいCOOL CHOICEに チェックを入れましょう！ ※複数選択可

COOL CHOICEは、お財布にも健康にも環境にも優しい取組です。

<input type="checkbox"/> <p>COOLBIZ クールビズ</p> <p>夏季の冷房時の室温を28℃(目安)に。涼しいファッションで、快適で省エネに過ごすライフスタイル。</p>	<input type="checkbox"/> <p>WARMBIZ ウォームビズ</p> <p>冬季の暖房時の室温を20℃(目安)に。首・手首・足首の「3つの首」をあため、省エネに過ごすライフスタイル。</p>	<input type="checkbox"/> <p>smart move</p> <p>徒歩や自転車、公共交通機関を利用し、「移動」を「エコ」に。健康で快適な新しい移動のスタイルにチャレンジ！</p>	<input type="checkbox"/> <p>ECO DRIVE</p> <p>アクセル操作一つで、お財布にも環境にも優しく、安全運転にもなる。すぐに実践できる、それがエコドライブ。</p>
<input type="checkbox"/> <p>COOL CHOICE 5つ星家電買換えキャンペーン</p> <p>買い換え ★★★★★ 省エネ家電</p> <p>統一省エネルギーラベルの星の数が多い家電への買換えや、LED照明への買換え・交換。</p>	<input type="checkbox"/> <p>COOL CHOICE エコ住キャンペーン</p> <p>断熱リフォーム 省エネ照明 水回りでCOOL CHOICE</p> <p>高断熱・省エネ住宅への買換えや、断熱や水回りの省エネリフォーム。</p>	<input type="checkbox"/> <p>COOL CHOICE できるだけ1回で受け取りませんかキャンペーン</p> <p>1回で受け取りませんか</p> <p>CO₂排出量の増加を招く宅配便の再配達を防ぐため、できるだけ1回での荷物の受け取り。</p>	<input type="checkbox"/> <p>COOL CHOICE チョイス!エコカーキャンペーン</p> <p>eco チョイス!エコカー</p> <p>買っておトク! 乗っておトク! 使って「地球」にやさしいエコカーに買換え。</p>

x0050

令和 3 年度三重県地球温暖化防止活動推進員活動報告用紙

宛 先：三重県地球温暖化防止活動推進センター

FAX:059-245-7518 E-mail : mcca@mcc.or.jp TEL : 059-245-7517

- 1 報告者氏名： _____ 共同実施者： _____
- 2 日 時： _____ 月 _____ 日 (_____) _____ 時 _____ 分～ _____ 時 _____ 分まで
- 3 場 所： _____ 住所 _____
- 4 活 動 名： _____
- 5 啓 発 人 数： _____ 人 イベント全体の来場者数 _____ 人
(※イベントの場合は直接の啓発者数と、わかればイベント全体の来場者数を記入してください)
- 対 象：①一般成人 ②中高年生 ③小学生 ④幼保園児 ⑤父母等
(該当するところを○で囲んでください。複数可。)
- 6 活 動 内 容：
種別：①出前講座 ②イベント（センター主催等含む）
③その他の啓発活動（要経費） ④その他の啓発活動（経費不要）
(種別を○で囲んでください。活動内容によっては経費をお支払いできない場合があります)

活動内容の詳細を記入してください

- 7 経費について(お支払いを求められる場合は○を付けてください。なお、他の機関等から支給があるときはお支払いの対象外となります。)

() 報償費

() 旅 費 (1)移動方法Ⅰ： 自家用自動車 運転 ・ 同乗 ()

(2)移動方法Ⅱ： ①バス ②JR ③近鉄 ④その他 ()

経路： _____ 駅(バス停)～ _____ 駅(バス停) 料金 _____ 円

- 8 その他センターへの連絡事項が何かあれば記入してください

※写真等の資料がある場合は、別紙にて添付してください

宛 先：三重県地球温暖化防止活動推進センター

1 報告者氏名： _____

2 日 時： _____ 月 _____ 日 (_____) _____ 時 _____ 分～ _____ 時 _____ 分まで

3 場 所： _____ 三重県環境保全事業団 _____ 住所 _____ 津市河芸町上野 3258 番地

4 活 動 名： _____ 令和 _____ 年度 _____ 三重県地球温暖化防止活動推進員研修会

5 移動方法Ⅰ： _____ 自家用自動車 _____ 運転 ・ 同乗 (_____ さんの車に同乗しました)

移動方法Ⅱ： _____ 公共交通機関 _____ ①バス _____ ②J R _____ ③近鉄 _____ ④自転車徒歩等

経路： _____ 駅 (バス停) ～ _____ 駅 (バス停) 料金 _____ 円

[illegible]

教材作成用資材等購入依頼書

申込日時： 年 月 日 ()

申込者氏名	(団体名)
-------	-------

購入を希望する 資材等		数量
利用目的 ※2		
使用年月日	年 月 日 ()	
購入希望時期	年 月 日 ()	
受取方法等	引取 郵送 (どちらかに○)	
申込者住所	〒 _____ TEL () _____	

- (備考) ※1 本依頼書は使用時期に間に合いますよう、余裕をもって申し込みください。
 ※2 利用目的には、講座名及び受講対象者の情報・人数等を記入してください。
 ※3 受取方法について、基本的には各自お引取願います。
 ※4 予算の都合上、ご希望に添えない場合があることをご了解ください。

(提出先・お問い合わせ)

三重県地球温暖化防止活動推進センター
〒510-0304

三重県津市河芸町上野3258番地

TEL059-245-7517 FAX059-245-7518

<http://www.mec.or.jp/ondan/>

センター記入欄		センター職員	
申請受領日	年 月 日	承認・不可	
購入決定日	年 月 日	確認印	
資材受渡日	年 月 日	確認印	